

# 改善箇所説明図



転倒時に外装部品の破損を防止するため、教習車に装着した中央部車体ガードにおいて、ガードパイプ下側の先端切断部が露出しているため、転倒した際に、乗員の足が路面と当該パイプの間で挟まれることがあり、最悪の場合、当該パイプ先端部で足を負傷するおそれがある。

	左側	右側
改善前		
改善後		

改善の内容：全車両、左右の中央部車体ガードに保護キャップを追加をする。

識別：保護キャップの有無を容易に識別できるため、特別な識別は行なわない。

注：        は追加する部品を示す。